

「『ことば』通りになる世界」

(竿代 照夫 牧師)

【 ルカの福音書 7章 1-10 節 】

- 1 イエスは、耳を傾けている民衆にこれらのことばをみな話し終えられると、カペナウムに入られた。
- 2 ところが、ある百人隊長に重んじられているひとりのしもべが、病気で死にかけていた。
- 3 百人隊長は、イエスのことを聞き、みもとにユダヤ人の長老たちを送って、しもべを助けに来てくださるようお願いした。
- 4 イエスのもとに来たその人たちは、熱心をお願いして言った。「この人は、あなたにそうしていただく資格のある人です。」
- 5 この人は、私たちの国民を愛し、私たちのために会堂を建ててくれた人です。」
- 6 イエスは、彼らといっしょに行かれた。そして、百人隊長の家からあまり遠くない所に来られたとき、百人隊長は友人たちを使いに出して、イエスに伝えた。「主よ。わざわざおいでくださいませんかように。あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。」
- 7 ですから、私のほうから伺うことさえ失礼と存じました。ただ、おことばをいただくさせてください。そうすれば、私のしもべは必ずいやされます。
- 8 と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私の下にも兵士たちがいまして、そのひとりに『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ』と言えば、そのとおりにいたします。」
- 9 これを聞いて、イエスは驚かれ、ついて来ていた群衆のほうに向いて言われた。「あなたがたに言いますが、このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見たことがありません。」
- 10 使いに来た人たちが家に帰ってみると、しもべはよくなっていた。